

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 社会医療法人社団十全会		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 700-0804 岡山市北区中井町2丁目5-1	
本票作成	部署名：事務部 設備担当				
主たる業種	分類コード	83	業種名：医療業		
事業の概要	循環器を中心とした急性期病院				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	心臓病センター榎原病院		岡山市北区中井町2丁目5-1	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台				
温室効果ガス排出量	基準年度(令和5年度)		(令和6)年度排出量	目標年度(令和7年度)	
	2,289 t CO ₂		2,686 t CO ₂	2,243 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和6)年度排出量	
	①	心臓病センター榎原病院		2,571 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間：令和6年度～令和7年度 (2箇年度) <input type="checkbox"/> 総排出量基準 (6)年度削減実績 目標削減率 目標達成 <input type="checkbox"/> 原単位基準 △ 17.3 % 2.0 % <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達				
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量		
			基準年度	(6)年度	目標年度
			CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)	達成率等	

【削減状況の自己評価】

令和6年策定の温室効果ガス排出削減に基づき、各装置の省エネ化を図り使用量の削減を行った。
 令和6年度は令和5年度と比較し夏は暑く、冬が寒い気候であった。加えて中間期が短期間ということもあり、空調熱源の削減が難しい状況にあった。結果、電気使用量が0.78%増となる。また、電力会社の温暖化係数が11.4%増となったことも排出量増加の要因となった。
 各々のセクションでは環境委員会活動を通じて職員意識の改革を図り、さらなる省エネ活動が実行されている。

【推進体制】

エネルギー管理に伴う統括者・企画推進者を選任、またエネルギー管理員3名選任
活動の中心である「環境委員会」へエネルギー管理員の選出・効率的なエネルギー管理を遂行する。
過去のエネルギー使用量を季節・時間帯など要素を取り入れ、管理の見直しを随時行う。
環境委員会では、エネルギーの削減・業務効率を中心に活動し、定期的な院内ラウンドを実施している。電気使用量を部署ごとに公表し、省エネ活動を啓蒙。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
	<p>(令和6年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○屋外サイン タイマー制御による節電 (4869kwh 2.04t-CO2) ○病理検査室系統外気処理エアコン (OPAC) の夜間停止 (1620kwh 0.68t-CO2) ○プール床暖房の停止期間変更による省エネ対策 (6048kwh 2.53t-CO2) ○熱源冷水ポンプのインバータ周波数制御の最適化 (3100kwh 1.29t-CO2) ○R棟リハビリセンターD(氷蓄熱)の制御見直し (432kwh 0.18t-CO2) ○エスカレータ天井照明の常時消灯による省エネ対策 (582kwh 0.24t-CO2) ○病理検査室系統外気処理エアコン (OPAC) の土日停止 (404kwh 0.17t-CO2) ○サーバ室の電源系統の見直し (小型UPSの撤去) (計量不可) ○プール空調システム + α (EF-R2-3停止) (540kwh 0.23t-CO2) ○熱源冷水ポンプのインバータ周波数制御の最適化 (3960kwh 1.66t-CO2) ○外調機運転短縮による節電 (内視鏡室) (737kwh 0.31t-CO2) ○院内ITV更新に伴う、ネットワーク通信機器の最適化 (8908kwh 3.73t-CO2) ○雨水滅菌装置の薬液ピッチ調整による省エネ対策 (679kwh 0.28t-CO2) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電気事業者変更 (環境メニューの省エネ特約) 使用量20%分排出係数 ○温室効果ガス排出係数が少ない電気事業者への切り替え ○空調熱源冷温水温度の季節ごとの調整 (継続) 電動機器更新時のトップランナーフィルタの採用 (継続) LED照明の導入 (順次) (継続) 太陽光パネルの設置検討

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無
その他	無

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無
その他	無

【その他特記事項】

--